

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 財団法人 神戸国際協力交流センター

1 事業の趣旨・目的

神戸市には約 44,000 人(平成 22 年3月現在)の外国人市民が居住しており、中でも中国をはじめとする外国人留学生や、いわゆるニューカマーと呼ばれる外国人市民が増加している。また、市内の外資系企業数や、国際学校の生徒数も増加の傾向にあり、地域国際化の進行が著しい。

日本語学習支援の必要性もますます高まっており、当センターにおいても、1,000 名を超えるボランティアが登録し、外国人市民に対し、日本語や、書道・華道を教えるボランティア活動を行っている。また、市内には地域の日本語教室が 10 箇所以上あり、活発な活動が行われている。

こうした状況のもと、神戸市内でボランティアとして日本語学習支援活動を2年以上行っている者を対象とした実践的研修を実施する。

研修は単なる講義形式ではなく、当センターの日本語学習者も外国人実習補助者として参加し、より実践的な手法を取り入れたものとする。この研修を通して、受講者の日本語教授法の能力を向上させ、学習者のニーズに応じた日本語学習支援活動ができるボランティアを養成する。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月13日	当センター 会議室	大和田 邦子 後藤 ひろ子 澤田 幸子 矢谷 久美子	・講座の概要説明 ・開催日時及び担当 講師について ・募集チラシについて 検討	・前半・後半の講座日程及 び担当講師について検 討した。 ・講座に盛込む学習内容・ 活動について検討し た。
7月1日	当センター 会議室	大和田 邦子 後藤 ひろ子 澤田 幸子 矢谷久美子	・講座カリキュラム及 び担当講師につい て ・外国人実習補助者 について	・講座カリキュラムの作成 及び担当講師を決定し た。 ・外国人実習補助者の日 本語能力レベルについ て検討した。

2月2日	当センター 会議室	大和田 邦子 後藤 ひろ子 澤田 幸子 矢谷 久美子	・受講生アンケートの 結果について ・講座の振り返り、今 後の課題について	・アンケート結果を評価し た。 ・講座の問題点・課題につ いて検討した。
------	--------------	-------------------------------------	--	---

【写真】



3 研修講座の内容について

(1) 研修講座名

神戸で活動する日本語ボランティア実践講座

(2) 研修の目標

単なる講義形式ではなく、当センターの日本語学習者も外国人実習補助者として参加し、より実践的な手法を取り入れた研修とする。

(3) 受講者の総数 30 人

(4) 開催時間数(回数) 40 時間 (20 回)

(5) 参加対象者の要件

- ①神戸市内でボランティアとして、日本語支援活動を2年程度又はそれ以上行っている者
- ②全20回とも出席できる者。
- ③講座の趣旨に同意し、かつ、会場の設営・片付け等に協力できる者。

(6) 受講者の募集方法

- ①案内チラシを作成し、センター内で掲示のほか、当センターのホームページに掲載。また市内の日本語学習支援団体等に配布し、広く募集を行った。
- ②当センターの2年程度の経験のある日本語ボランティアに対し、案内チラシと案内メールを送付した。(別途募集チラシ添付)。

(7) 研修会場

当センター会議室(講義・実習とも)

(8) 使用した教材・リソース

<日本語教材>

- ・にほんご500問 上級 アスク出版
- ・みんなの日本語中級 I 文法解説 英語版 スリーエーネットワーク
- ・ドラえもんどこでも日本語 小学館
- ・留学生ここが大切文章表現のルール スリーエーネットワーク
- ・日本語能力試験 試験問題と正解1・2級 凡人社
- ・日本語能力試験 試験問題と正解3・4級 凡人社
- ・やってみよう「参加型学習」日本語教室のための4つの手法—理念と実践 スリーエーネットワーク
- ・教師とコーディネーターのための日本語プログラム運営の手引き スリーエーネットワーク
- ・まんがクラスメートは外国人 明石書店
- ・多文化共生社会と外国人コミュニティ 現代人文社
- ・暮らしの日本語指さし会話帳 ポルトガル語・中国語・英語・韓国語・スペイン語版 情報センター出版局
- ・SHADOWING 日本語を話そう くろしお出版
- ・新毎日の聞き取り50日 凡人社
- ・上級のパワーをつける聴解戦略 凡人社
- ・旅の指さし会話帳 JAPAN 英語、KYOTO、沖縄、中国語・韓国語版 情報センター出版局
- ・日本留学試験 試験問題 日本学生支援機構
- ・マンガで学ぶ日本語表現と日本文化 アルク
- ・マンガでわかる実用敬語初級編 アルク
- ・絵でわかるかんたんかんじ スリーエーネットワーク
- ・はじめて日本語を教える人のためのなっとく知っとく初級文型50 スリーエーネットワーク

- ・中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期 スリーエーネットワーク
- ・中級を学ぼう 日本語の文型と表現82 中級中期 スリーエーネットワーク
- ・みんなの日本語初級 スリーエーネットワーク
- ・日本文化を読む—上級学習者向け日本語教材 アルク
- ・日本語おしゃべりのたね スリーエーネットワーク
- ・正しく書けるカタカナ語すらすら1日10分 スリーエーネットワーク
- ・漢字で意味が変わるビミョーな日本語 スリーエーネットワーク
- ・日本語初級 大地 スリーエーネットワーク
- ・TOTAL JAPANESE 凡人社
- ・KANJI STARTER IBC パブリッシング
- ・漢字はむずかしくない アルク
- ・ゼロからスタート日本語会話 Jリサーチ出版 等

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
8月18日 10:30～12:30	I. 日本語ボランティアとは (内容) アイスブレイキング(自己紹介)	当センター日本語ボランティア 大和田 邦子	30名
8月25日 10:30～12:30	I. 日本語ボランティアとは (内容) 今までの活動を振り返る、日本語ボランティアに大切な事を考えよう	当センター日本語ボランティア 後藤 ひろ子	24名
9月1日 10:30～12:30	II. 地域の状況を知ろう(身の回りの外国人) (内容) 生活者としての外国人について知ろう	当センター日本語ボランティア 後藤 ひろ子	30名
9月8日 10:30～12:30	II. 地域の状況を知ろう(身の回りの外国人) (内容) 外国人の子どもの現状を知ろう	当センター日本語ボランティア 大和田 邦子	28名

9月15日 10:30~12:30	Ⅲ. 実習① (日本語交流活動) (内容) 日本語交流活動とは? 意義・ ねらい	当センター日本語ボラン ティア 大和田 邦子	30名
9月29日 10:30~12:30	Ⅲ. 実習① (日本語交流活動) (内容) 準備の仕方	当センター日本語ボラン ティア 大和田 邦子	27名
10月6日 10:30~12:30	Ⅲ. 実習① (日本語交流活動) (内容) 活動案・神戸独自の教材作成	当センター日本語ボラン ティア 大和田 邦子	30名
10月13日 10:30~12:30	Ⅲ. 実習① (日本語交流活動) (内容) 実習1 (学習者=初心者)	当センター日本語ボラン ティア 後藤 ひろ子	29名
10月20日 10:30~12:30	Ⅲ. 実習① (日本語交流活動) (内容) 実習2 (学習者=中上級者)	当センター日本語ボラン ティア 後藤 ひろ子	26名
10月27日 10:30~12:30	Ⅲ. 実習① (日本語交流活動) (内容) 振り返り	当センター日本語ボラン ティア 後藤 ひろ子	29名
11月10日 10:30~12:30	Ⅳ. 異文化理解 (内容) 多文化共生社会における地域日 本語教室の意義	財団法人海外技術者研修 協会 澤田 幸子	29名

11月17日 10:30~12:30	IV. 異文化理解 (内容) 異文化コミュニケーション	財団法人海外技術者研修 協会 澤田 幸子	27名
11月24日 10:30~12:30	IV. 異文化理解 (内容) ケーススタディ	財団法人海外技術者研修 協会 澤田 幸子	29名
12月1日 10:30~12:30	V. 実習② (テキストを用いての教室活動) (内容) 日本語の基礎知識	財団法人海外技術者研修 協会 澤田 幸子	28名
12月8日 10:30~12:30	V. 実習② (テキストを用いての教室活動) (内容) 初級編	財団法人海外技術者研修 協会 矢谷 久美子	29名
12月15日 10:30~12:30	V. 実習② (テキストを用いての教室活動) (内容) 中上級編	財団法人海外技術者研修 協会 矢谷 久美子	27名
12月22日 10:30~12:30	V. 実習② (テキストを用いての教室活動) (内容) 実習1 (学習者=初心者)	財団法人海外技術者研修 協会 矢谷 久美子	26名
1月5日 10:30~12:30	V. 実習② (テキストを用いての教室活動) (内容) 実習2 (学習者=中上級者)	財団法人海外技術者研修 協会 矢谷 久美子	26名

1月12日 10:30~12:30	V. 実習② (テキストを用いての教室活動) (内容) 振り返り	財団法人海外技術者研修 協会 矢谷 久美子	29名
1月19日 10:30~12:30	VI. まとめ (内容) 意見交換、全体のまとめ	財団法人海外技術者研修 協会 澤田 幸子	27名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

- ・ 実習では、他人の実習内容が観察出来る一方、自分の実習を他人より客観的に評価をもらえるのが勉強になり良かった。
- ・ ボランティアの心構えから入り、実際に実習を行なえたことで、形として自分の中に収まったと思う。
- ・ いろんな地域で日本語を教えておられる方々との意見交流を今後の学習活動に活かしていけるようにしたい。
- ・ 今回の6か月は目からウロコの世界でした。気負う事なく続けていくこと。少しの自信もできた気持ちです。
- ・ グループでの行動はとても有意義でした。
- ・ 「地域に居住する生活者としての外国人」について、そこに永続して居住しようと思う気持ちにさせる意義、コミュニケーションのやり方を再認識した。
- ・ 自分が学習者の立場になる経験は貴重だった。
- ・ 学んだことを全部学習者に出すのではなく、自分の引き出しの中身が増えたと思うので、小出しにしていきたい。
- ・ 日本語ボランティアは社会の延長といわれていたことが印象に残った。同じボランティア活動をしている方々と意見交換ができてよかった。
- ・ 実習で、学習者からのはっきりした意見、感想のプリントをいただき、よくわかりました。グループの方々の工夫が大変楽しかった。
- ・ ボランティア活動スタンスを持つことの大切さが分かった。よって活動スタイルが明確になった。
- ・ 受講生の皆さんがボランティア活動に熱心で自己研鑽されているのに敬意を払います。私も負けぬように感じました。
- ・ 今までマンツーマンで授業をしていたが、複数の方の前で授業する経験が出来てよかった。

- ・ グループで活動したり、意見交換の場が多かった。他グループの活動を知る機会がありよかった。
- ・ 多文化共生社会を地域から、ビデオでテレビのディスカッションを見せてもらってよかった。
- ・ グループで活動案を作成し、実習ではなかなか思い通りに進まなかったり、予想以上にうまくいったり、楽しかった。他の人の指導の仕方を拝見出来て勉強になった。
- ・ グループ内でお互い意見、アイデアを出し合って、グループでまとめるやり方はよかった。(他人の意見、考え等がよく分かってよかった。)
- ・ 外国人学習者(初級、中上級)との実習は、今後のボランティア活動に大変役立った。
- ・ 経験豊かな講師による講義は非常に興味をもちながら、今後の活動に大いに参考になった。
- ・ 初級者へ学習、中上級者への教え方等、幅広い知識が得られ、復習も合わせ、实际的ですぐの学習に役に立つと思われる。
- ・ 私自身の年齢もかんがみ、教室だけのおきつあいではなく、学習者の日本での生活一般の多岐にわたっての支援を行ないたいと思う。
- ・ ストレートな言い方になるが、無料講座にもかかわらず、これ程高度な密度の濃い講座を受けたのは初めてであり、本当に感謝をしたい。
- ・ 半年にわたる講座とグループ単位であった為、参加者間の交遊が将来的にも期待できる。
- ・ グループ活動の中で、他の方の意見を聞く事が多く、とても参考になった。
- ・ いつも学習者と2人だけの世界が今回広がりました。
- ・ 以前、数回講座を受けた経験から、今回の講座で全てカバーされている感じ değildir。
- ・ まさに目から鱗が落ちまくりました。間の取り方、時間配分、進行方法、全て完璧に思いました。
- ・ 4人の講師の皆様に変感謝申し上げます。参加者が前向きで立派でした。情報交換の場でもあった。
- ・ 日本語ボランティアをする人にとって必要不可欠な内容であるので良かった。過去の研修でも学習したと重なる点多かったが、再認識することができた。
- ・ すでに学んだことを活用しています。相手のニーズを第一に考えるようになった。押し付けることなく対等な関係を保つよう努力している。

② 実施主体からの研修内容結果評価

初めて実習を取り入れた講座であったが、講義時間で学習者への教え方や教材の使

い方などを学習し、実習時間で実践したことにより、ボランティアがこれまで支援してきた活動について、新たな「きづき」があったようである。

また、6か月間の講座を通して、実習に向けての準備等、グループワークを多く取り入れたが、受講生同士意見交換・協力する中で、今後の活動を行う上で、ネットワークづくりにも寄与することができた。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

今後も、学習者のニーズに応じたレベル別の講座の実施や、月1回程度日本語ボランティア同士が意見交換できる場を提供していく。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

当センターの日本語ボランティアを始めとする神戸市内の地域のボランティア活動に寄与することができた。

② 研修後の人材活用

当センターの日本語ボランティアを始めとする神戸市内の地域の活動ボランティアとして活動する。また、当講座の修了者は、日本語ボランティア同士による勉強会・入門者向け講座等の講師として活用する。

(12) 今後の課題

当センターではこれまでも講義形式による講座を開催しているが、今後、実習を中心とした講座の開催、日本語ボランティアが主体となったグループレッスン、郊外学習等を実施していくことが必要である。